

田辺三菱製薬株式会社名張第1研修所の取得及び無償譲渡について

1. 近畿大学工業高等専門学校誘致経過について

本市では、平成21年に皇學館大学社会福祉学部の撤退意向を受けたことから、同大学跡地を利用する法人を公募し、運営計画、地域への貢献度、設置法人の経営状況等を総合的に判断し、学校法人近畿大学（以下「近畿大学」といいます。）を選定し、近畿大学工業高等専門学校（以下「近大高専」といいます。）を誘致しました。

その後、平成22年に近畿大学との間で移転合意をはじめ、学校誘致に関する協定や地域振興に関する覚書等を締結し、近大高専は平成23年4月に本市で開学しました。

2. 近大高専「百合が丘寮」について

近大高専の誘致に当たっては、熊野市からの移転及び開学となることから、通学が困難な教職員及び学生が多く、名張市内での住居確保に向けて、本市としても積極的な支援、協力に努めました。

そのような中、田辺三菱製薬株式会社が所有する研修施設（以下「名張第1研修所」といいます。）内に子ども発達支援センターの設置の検討を進めていた経過から、当該研修施設を同社から本市が年間800万円で借り上げ、近大高専の教育寮「百合が丘寮」として、開学時から現在まで近畿大学へ年間521万6千円で有償貸与してきました。

子ども発達支援センターは、現在「名張市子どもセンター」内に移転し、名張第1研修所に設置していた子ども発達支援センターの部分は、現在、防災倉庫等として活用しています。近畿大学への貸借料は、使用面積の按分により算出しています。

3. 名張第1研修所の取得提案等について

今回、田辺三菱製薬株式会社の経営方針の変更により、名張第1研修所について、本市への売却（土地、建物の売却額は、それぞれ1円）の提案を受けました。

本市としましては、通学困難な生徒の安定的な住居の確保の必要性及び名張第1研修所の将来にわたる適切な維持管理等に要する人的、財務的な負担等を総合的に検討した結果、この提案により名張第1研修所を取得し、近畿大学へ無償譲渡したいと考えています。

なお、防災倉庫等、本市が使用している部分については、他の市所有施設へ機能移転

することとします。

これらのことにより、市外又は県外の高校生世代が本市で生活し、本市のまちづくり等に関わる環境を継続的に維持することができ、また、将来的な関係人口、定住人口、創出等の効果が見込まれることから、人口減少下における高等教育機関の本市定着の更なる環境整備を図ります。

(1) 対象物件

・土地

所 在	地 目	地積（公簿）
名張市百合が丘西6番町36番地	宅地	10,317.28㎡

・建物（竣工年月：昭和63年11月）

構 造	床面積	
鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺4階建	1階	581.43㎡
	2階	1,732.90㎡
	3階	617.99㎡
	4階	637.76㎡

(2) 位置図及び施設概要図

別添資料のとおりです。